

令和5年度 福岡県ノーリフティングケア普及推進事業

実践報告

モデル施設
2年目の挑戦
～ 種をまいたら芽がでたよ～

特別養護老人ホーム 能古清和園



プロローグ

ノーリフティングケアの発祥を浴びた1年目。軽い気持ちで始め
てしまったことを後悔した時は、時が経てば、何をやることも
いかに、決まらぬ度と押し付けがましい心を克服するのは、コメンター
の熱い気持ちとあった。時勢前のアス思考で少しずつノーリフティ
ングケアの種をまき続けた。いつか芽吹くことを思い描いて辛抱
強く水をやり続けた。

そして、2年目の...



あらすじ

第1章

1年目の
ダイジェスト

- ① 甘くはなかったノーリフティングケア
- ② 失敗を繰り返す中で見えてきたこと
- ③ 自分たちに足りなかったもの

第2章

2年目の
私たち

- ① 体制 ~ 祝！委員会発足!! ~
- ② 人員 ~ やっとの思いで... ~
- ③ 情報共有 ~ ChatWorkを用いて ~
- ④ 育成 ~ 全体で、個別で ~
- ⑤ 仲間 ~ 仲間づくりがもたらしたモノ ~

第3章

今後の課題

- ① 実技研修の充実
- ② 福祉用具の導入
- ③ 仲間づくりの継続



◆◆ 第1章 1年目のダイジェスト ◆◆

① 甘くはなかったノーリフティングケア

● 順調そうに見えた取り組み初期...

施設長のノーリフティングケア宣言からスタート
した推進事業。

何の根拠もなく上手くいくと思っていた。

どれだけ忙しい中でも欠かさず参加したマネジメント研修。

毎月の計画立案は上手くできていた。

講師の先生方にもお褒めの言葉を多くいただいた。

● しかし... そう甘くはなかった

自分たちなりに頑張っており取り組んでいたが、

計画の達成度はいつも低い...!

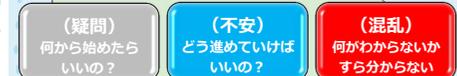
容赦なしに進むカリキュラム。

いつの間にかできない理由を探し始めていた...

項目	担当	内容	
実際の計画	山川	継続づくりに向けた資料作り(改善案) アセスメント・プランニング・担当委員会・プランの決定 プランの策定・進捗の把握・評価 作成した資料を事務局に配布。事務局から意見ももらい資料の修正。	
具体的手順	9月30日	各職種	
	10月12日	山川	主任室にてアセスメント・プランニングの観点でプランニング説明
	10月28日	コメンター	リーダー会議にて主任室決定した内容を周知
	11月1日~31日	サトウ	各ユニット会議で一輪車員まで周知
12月1日~	各職種	担当委員会、活動	
目標達成度		継続づくりに向けた資料作り ⇒20% 作成した資料を事務局に配布し事務局とのすり合わせ ⇒20% 各ユニット会議にて取り組みの説明、周知 ⇒20% 各担当委員の実施 継続的な実施で、主任室 からアセスメント・プランニングを促されたため、今月中に作成。②、③、④、⑤ ⇒5%【資料の一部しか 作成できていないため、その先が過ぎず、12月以降継続実施予 定】 ⇒全体で5%	
評価方法			
達成度			

● カリキュラムが進むにつれ...

計画は立つものの、何から手を付ければいいのか、
どう進めていけばいいのかさえわからず、最終的
に分からないことすら分からない状態にまでなっ
てしまった。



◆◆ 第1章 1年目のダイジェスト ◆◆

② 失敗を繰り返す中で見えてきたこと

● やつとが目覚め・・・

厳しくもあたたかい講師の先生方の一言で、**本気で取り組んでいない自分たち**に気づく。

やっと目が覚めた。

萎えることのないノーリフティングケアに対する熱い思いをもう一度沸き立たせ、自分たちの今までの取り組みを最初から見つめ直した。

すると、見えてきたものが...

● 分かったことと言えばただ一つ・・・

やみくもに取り組んでいた自分たち。

計画を上手く進めることばかり考えていた。

大切なことはそこではなかった。

自身を振り返る過程で分かったことが一つだけ...

自分たちに足りていなかったものが何なのかが分かった!!

③ 自分たちに足りなかったもの

● 自分たちに足りなかったもの・・・

一言でいえば、

『**覚悟**』と『**実行力**』

● 実行力を発揮するために必要なもの・・・

『**体制**』 『**人員**』

『**情報共有**』 『**育成**』 『**仲間**』

2年目はこの**5つのキーワード**を軸に取り組みを始めて行くことになる...



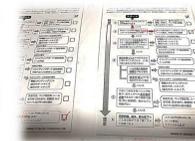
◆◆ 第2章 2年目の私たち ◆◆

☆ 2年目の私たちは **ここが成長した!**

① 体制

- ・ 正式な委員会として再スタート
- ・ 委員会会議の定期開催
- ・ 毎月の担当者会議においてノーリフティングケアの視点での移乗方法の提案、ケアプランへの記載

祝!! 委員会発足!



アセスメントシート

② 人員

- ・ 1年目は感染症による移動制限や残業など、日々の業務で手いっぱいだったコアメンバー...
- ・ 外国人介護職員の入職や新規採用により、実技研修やラウンドなどコアメンバーの動きやすい環境が整ってきた



新入職員への技術指導の様子

◆◆ 第2章 2年目の私たち ◆◆

☆ 2年目の私たちは **ここが成長した!**

③ 情報共有

・ マネジメント研修の実施計画書の進捗を委員会にて共有

・ チャットワークのタスク管理機能を活用し、各自の役割やタスクの状況を委員全員が把握可能

Chatworkを活用してのタスク管理



☆ 2年目の私たちは **ここが成長した!**

④ 育成

・ 施設内研修の場で技術のデモンストレーションを見せると感動の声が上がる

・ 個別に教育し、コアメンバー以外に技術伝達ができる職員を養成

個別の技術教育の様子



施設内研修会での一コマ



◆◆ 第2章 2年目の私たち ◆◆

☆ 2年目の私たちは **ここが成長した!**

⑤ 仲間

(施設内の仲間)

・ コアメンバーにケアマネージャー、看護職員が正式加入

⇒ 取り組みの理解者が増え、役割分担が充実

意欲的に事業に携わる看護職員 I



担当者会議で大活躍中のケアマネージャーG



・ 能古清和園の外国人介護職員は学ぶ意欲がとても高く、実技研修を実施すると教えたとおりに実行してくれる

⇒ それコアメンバーにはとても嬉しい...

結果的に、コアメンバーの刺激ややりがいにもつながっている



積極的に福祉用具を活用している外国人介護職員のみならず



◆◆ 第2章 2年目の私たち ◆◆

☆ 2年目の私たちは **ここが成長した!**

⑤ 仲間

(施設外の仲間)

- ・普及促進事業の施設の皆様、講師の方々とも顔なじみの関係になりSlackやLINEでのつながりができた
- ・フォーラムにスタッフの一員として参加させていただき、ノーリフティングケアを普及させていくことへの一層の自覚と福岡地域全体の一体感を得ることができた
- ・Slackでのつながり
 - ・事業に参加していない施設の方々とも実技研修で知り合い、交流を深めることができた
 - ⇒コアメンバーの使命感、モチベーションの向上

Slackでのつながり



(第三の仲間)

こんにちは、リフトくん。

- ・床走行式リフトをついに導入
- ・寝たきりのご利用者様の離床、入浴時の職員の腰痛負担の軽減が実現
- ⇒現場の職員がリフトを実際に使用し、身近に感じる環境ができたことで、福祉用具アレレギーの克服に繋がる



実際のリフト使用時

コアメンバーによるリフト使用方法の研修



◆◆ 第2章 2年目の私たち ◆◆

番外編 ~その1~

リスクの芽を摘め!
ラウンド実施

- ・環境面でのリスクラウンドの実施
- ・必要物品をリストアップできた
- ⇒目に見える形で必要物品が届くことで職員がこの事業への関心が高まる



実際に使用したラウンドチェック表

コアメンバーによるラウンド実施中

番外編 ~その2~

福祉用具チェック実施

- ・ベッド、車椅子にナンバリングを実施
- ・ユニットの職員がチェックできる体制を整備
- ⇒コアメンバーの負担が軽減
- また、各ユニットの職員の担当者意識の向上に一役買った



福祉用具管理表



只今、ナンバリング中

◆◆ 第3章 今後の課題 ◆◆

① 教育環境の充実

- ・新人研修のカリキュラムにノーリフティングケアの研修を組み込む
- ・全体の実技研修に加えて、入居者それぞれのケアの方法を必要職員が個別に習得できるような研修体制を構築する
- ・技術伝達ができる職員の育成を強化する

② 福祉用具の導入

- ・アセスメントに基づいてスタンディングリフトや跳ね上げ式の自走式車椅子など福祉用具の導入計画を立案する
- ・『必要な時』に『必要な福祉用具』が『必要な場所』にある環境を構築する

③ 仲間づくりの継続

- ・施設外の研修やイベントに積極的に参加することで、刺激を受けながら切磋琢磨できる環境に身を置く
- ・施設内に同じ思いを持つ高めあえる仲間を増やし、チームパフォーマンスの更なる向上を目指す



エピソード

ここまで来るのは決して簡単な道のりではなかった。多くの挫折を味わいながらも引き続き1年目自分たちの成長を感じ取れた2年目、たくさんの人たちのサポートと仲間の存在が自分たちを支えてくれた。1年目、ほれどした気持ちでまいた種から出た『ノーリフティングケアの芽』。枯らさないように、出来ればすぐ生育していきたい。いや育てていくんだ!

そんな強い意志を持って、勝負の3年目へ続く...

FOLLOW US



NOKOSEIWAEN

Nokoseiwaen Instagram

